

# 茶畑から野菜畑への転換（中村園）

## 茶畑から野菜畑に転換し、1年で無農薬栽培を実現

2013年6月の一番茶収穫後に3畝分の茶畑の茶樹を伐採し、重機で転地返しをする。スーパーERの1000倍液を600ℓ灌水して耕す。翌年の2014年1月にスーパーERのボカシ12俵、魚カス、苦土石灰を入れて耕す。3月にスイカを作付けし、無農薬、無肥料で栽培して夏にはみごとに糖度ののったスイカを収穫する。その後も1年間に3回のERボカシを入れ、それぞれの作付けに合わせたスーパーERを灌水して無農薬で見事な野菜を作っている。

通常、転換した畑でしっかり収穫できるまでに3年程度かかると言われているが、スーパーERとERぼかしを使うことで、土が短期間でフワフワと柔らかくなり1年で無農薬栽培ができるようになった。



2015年11月には、大根、キャベツ、ブロッコリー、白菜、サトイモ、ネギ、生姜などを栽培している。大根は葉が柔らかく甘く、そのまま食べても十分美味しい。近所におすそ分けをすると、「美味しい!」と評判で、多くの方が畑の見学に来るので、土が踏み固められないように藁を敷いている。

